

会議結果報告書

令和4年11月11日

会議の名称	令和4年度第2回志木市男女共同参画審議会
開催日時	令和4年11月11日（金）午前10時～午前11時
開催場所	志木市役所 大会議室2-1
出席委員	渡邊美穂委員、山口敬二委員、高野勉委員、塩沢夕起子委員 中西喜代子委員、高木剛委員 (計 6人)
欠席委員	阿部剛委員、大貫結子委員、内山雅子委員、関谷真司委員 (計 4人)
説明員職氏名	人権推進室 村山主事 (計 1人)
議題	(1) 令和4年度版志木市の男女共同参画推進状況（年次報告書） について (2) その他
事務局職員	人権推進室 山本室長、本間主査、村山主事、醍醐参与 (計 4人)

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開会

2 挨拶

3 議題

（1）令和4年度版志木市の男女共同参画推進状況（年次報告書）について
（委員）

6ページ「市役所職員の割合について」の統計グラフにかかる説明文について、前年と同様に、主査級・課長級以上職員の割合だけでなく、人数も記載した方がわかりやすい。

（説明員）

前年度と同様に人数を記載する。

（委員）

10ページ「具体的取組進捗管理表」について、現状値とは何年度の数値なのか。また、現状値に年度の記載はできるか。

（説明員）

現状値は、計画策定時に、調査等を行った令和元年度の数値である。
わかりやすくするために、現状値の欄に年度の記載を追加する。

（委員）

令和3年度から令和6年度までの矢印は何を意味しているのか。
また、なぜ、令和7年度のみ空欄なのか。

（説明員）

市民意識調査に基づく指標に、矢印を用いている。

市民意識調査は、毎年度行わず、計画策定の前年度に行っているため、次回調査を実施するまでは、現状値を据え置くことを矢印で表している。

なお、次回調査は、令和6年度を予定していることから、矢印は、令和5年度までとし、令和6年度を空欄とするよう修正する。

また、矢印がない指標については、毎年度、数値を把握できることから矢印を

用いていない。

(委員)

10ページ「具体的取組進捗管理表」について、市民意識調査に基づく指標は、次回調査を実施するまで、数値を据え置くという、注意書きを加えた方がわかりやすいと思う。

(説明員)

市民意識調査に基づく指標に対する、注意書きを追加する。

(委員)

10ページ「具体的取組進捗管理表」の「市役所における男性職員の育児休業取得率」について、今は、取得するだけでなく、何日取得したかということにも関心が集まっているため、取得日数も記載できると良いと思う。

(説明員)

育児休業の取得日数を記載することについては、担当課と協議させていただきたい。

(委員)

7ページ「DVに関する相談と保護件数の推移」の統計グラフについて、DVに関する相談件数が、令和2年度の177件から令和3年度は321件と大幅に増加している。この増加理由も、可能な限り、グラフの説明文に記載していただきたい。

(説明員)

DVに関する相談件数は、全国的にも増加傾向であり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているとも言われている。グラフの説明文に増加要因も記載することについては、増加要因の特定も含め、担当課と協議させていただきたい。

(委員)

9ページ「埼玉県内での志木市の推進状況」について、令和4年4月1日現在の管理職相当職の職員（課長級以上）における女性職員比率は、増加しているが、6ページの市役所における女性職員の割合のグラフには反映されていない。

6 ページのグラフは、令和3年度までの実績までしか記載できないということか。

(説明員)

お見込みのとおりであり、9 ページ「埼玉県内での志木市の推進状況」は、埼玉県の資料を基に作成しているため、グラフとは異なる年度となっている。

(委員)

災害に対して、男女共同参画の視点に立って取り組むことは重要であるため、防災職員等の男女比のデータを追加してはどうか。

(説明員)

災害時時に男女共同参画の視点に立って取り組むことは重要であることは認識している。年次報告書に防災職員等の男女比のデータ等を項目として追加することについては、どのようなデータを掲載するかどうかも含めて、調査、研究していく。

(2) その他

(説明員)

年次報告書策定に係る今後のスケジュールにつきましては、審議会からのご意見を参考に、再度、調整を行った上で、年明けごろに、委員の皆様へ配布する予定である。

4 閉会